

## 第7回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会 議事録

### 1 日時

平成29年7月14日（金） 15時30分～17時10分

### 2 出席者

（委員）小林勝衛委員長、小林利安委員、堀信幸委員、佐藤歌子委員、山田睦子委員、澤田誓委員、瀬尾英三委員、安藤正則委員、古川雄二委員、飯沢賢一委員、野崎靖之委員、長久保重行委員、小林成吉委員

（泉崎村）村長、副村長、教育長（以下事務局）

総務課長、総務課企画財政グループ長、総務課企画財政グループ主任主査  
総務課企画財政グループ主事

### 3 議題

- （1）地方創生拠点整備交付金の施設整備計画（泉崎6次産業館）について
- （2）地方創生加速化交付金（泉崎村魅力発見発信事業）の実施状況について
- （3）泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策の実施状況について
- （4）その他

### 4 決定事項・確認事項

- （1）議題（1）について、施設整備計画（泉崎6次産業館）を事務局から報告。
- （2）議題（2）について、事務局から効果検証の報告を受け評価を決定。
- （3）議題（3）について、事務局から効果検証の報告を受け評価を決定。
- （4）その他について、今後の日程について事務局から報告。

### 5 発言者名、発言者ごとの発言内容

以下のとおり

司会(総務課企画財政グループ長)	<p>ー開式ー</p> <p>本日は、ご多忙のところ、第7回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会にお集まりいただきありがとうございます。私、本日の進行役を務めさせていただきます総務課企画財政グループ長の緑川でございます。どうぞよろしくお願いたします。</p> <p>はじめに泉崎村長久保木正大よりご挨拶申し上げます。</p>
久保木村長	<p>ー村長あいさつー</p> <p>皆さん、今日はお忙しい中、第7回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会にご出席をいただきましてありがとうございます。</p> <p>本日は、平成28年度に行った事業の検証ということですが、本村においても、子育て環境の整備を、今、行っているところであり、低価格な住宅の提供もその一環であります。</p> <p>経済的にも大変な時期である若者を呼び込む施策ということで行っていますが、安くなってどういう影響があるのかということになりますと、これは多ければ経済が活性化して可能だということ、具体的にどれくらい損失があるのかというと正直分からない部分も私はあるのですが、しかし、基本はやはり個別の具体例だけで賃貸住宅を安くしたり、あるいはその他の施策、子育て支援や色々考えています。</p> <p>そのことだけで、若者を含めたですね、地域の方々が魅力を感じるかということでございます。やはり生活の利便性ということだけで考えますと、正直やっぱり、街場には敵わないですね。</p> <p>前にもお話したかもしれませんが、白河の奥さん方に電話したときに泉崎は自然も豊かだし、最低限の施設もいっぱいありますねと、コンビニもあるし、スーパーもあるし色々し、それ全て白河市にはありますから、近くに大型店も全て揃っていますからと、そのとおりだなと、それだけでは、やはり街場には勝てないのだなと思いましたね。</p> <p>それにまして、色々な魅力作り、そんなことを考えての人口減少対策というのが、視点なのかなと思っていますけれど、以前に子育て支援の件で、今までも少しずつ財政が許す限り改善してまいりました。今年度も保育所などを二人目から無料にしようということでスタートをいたしました。そのようなことで、あるいはランドセルを無料化して、そのようなことで魅力を感じたりするかなと、具体的には色々と考えております。</p> <p>これからもですね、色々小さい子どもばかりでなくて、小学校、</p>

	<p>あるいは中学校の子ども達に対しても、やはりご家庭の負担が大変だというお話も議会も含めて色々とでてきます。</p> <p>そんなところをいかに行政としてバックアップできるか、その結果、魅力を持っていただく、そのようなことも考えていかなければ行けないと思っています。</p> <p>例えば、給食費を本当は全額と言いたいのですが、少なくとも半減できるような、そのようなことを全額ですと4、5千万かかるということですが、仮にそれを半分にしましょうということになれば、2千万代で可能だということ、決して財政的な負担が村の状況からして、厳しいかという、決してそうではないだろうと、他のところを上手く効率化をしていくことによって可能だろうということも視野に入っております。</p> <p>その辺を含めて人口減少対策委員会、そして議会、そして私ども執行者を含めてしっかりと考えて行ければなど。そして地域は色々なところへの配慮が泉崎村にはあるというところに持って行きたいなと思っています。</p> <p>今日も有意義な委員会になることを心から祈念いたしまして、御礼の挨拶といたします。今日はご苦労様です。</p>
司会	<p>続きまして、小林委員長よりご挨拶を頂戴いたします。</p>
小林委員長	<p>ー委員長あいさつー</p> <p>改めまして、こんにちは。大変暑い中、皆様にご参集いただきましたこと、誠にありがとうございます。</p> <p>昨年の12月14日に行われました第6回の委員会において、総合戦略の中に盛り込まれている事業の中間報告を行ったところがあります。本日の委員会は、国の地方創生の交付金の対象事業について、評価及び検証することが義務付けられていることからお集まりいただきました。</p> <p>本日、評価して頂く施策、事業についても、待ったなしの状況で進めていく必要があると認識しております。</p> <p>この後担当から説明させていただきますが、単に評価していただくのではなく、様々な面から委員の皆様のご意見を頂戴して、現在行われている泉崎村の施策についても見直す必要もあると考えております。</p> <p>従いまして、本日は皆様方それぞれのお立場で忌憚のないご意見、ご指摘など賜りますようお願い申し上げます、簡単ではございますがご挨拶とさせていただきます。</p>

司会	<p>なお、先ほど村長からのお話のなかにもございましたが、委員会終了後に意見交換会という形で一献、用意されているということでございますので、その辺も合わせて、よろしくお願い申し上げます。</p> <p>ありがとうございました。</p>
司会	<p>－委員の紹介－</p> <p>議題に入る前に、今回、人事異動等に伴い、3名の委員の交代がありましたので、改めて委員の皆様を再度、ご紹介をさせていただきたいと思っております。</p> <p>こちらから所属とお名前をお呼びさせていただきます。</p> <p>委員の名簿につきましては、お配りしておりますのでご確認のほど、よろしくお願い致します。</p> <p>秋山錠剤 株式会社 福島工場長 小林利安様。新任でございます。</p>
小林利安委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>株式会社 朝日ラバー 管理本部業務グループ部長 堀信幸様。</p>
堀委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>泉崎村農業委員会 会長 小林勝衛様。</p>
小林委員長	<p>よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>福島県農業総合センター農業短期大学校 研修部長 佐藤歌子様。</p>
佐藤委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>泉崎村教育員会 教育長職務代理者 山田睦子様。</p>
山田委員	<p>はい、よろしくお願いいたします。</p>
司会	<p>株式会社 東邦銀行 白河支店 支店長 澤田誓様</p>
澤田委員	<p>よろしくお願いいたします。</p>

司会	夢みなみ農業協同組合 泉崎支店長 瀬尾英三様
瀬尾委員	はい、よろしくお願いいたします。
司会	認定農業者会 会長 安藤政則様
安藤委員	よろしくお願いいたします。
司会	福島民報社 白河支社長 古川雄二様
古川委員	はい、古川です。よろしくお願いいたします。
司会	福島民友新聞社 白河支社長 飯沢賢一様
飯沢委員	はい、よろしくお願いいたします。
司会	なお、11番の三村成子様は本日、所用により欠席されております。 泉崎村商工会 会長 野崎靖之様
野崎委員	はい、よろしくお願いいたします。
司会	泉崎村民生児童委員協議会 会長 長久保重行様。
長久保委員	はい、よろしくお願いいたします。
司会	泉崎村消防団 団長 小林成吉様。
小林成吉	はい、よろしくお願いいたします。
司会	以上 14 名の方です。大変お世話になります。 なお、村執行部でございますが、先ほどご挨拶をしました村長 久保木正大、副村長の岡部文雄なのですが、公務のため出張しておりますので、4時半くらいに到着予定となっております。教育長 杉田久美子。 事務局でございますが、今回 4 月の異動によりまして、総務課長がかわりまして、新たに総務課長の星雅之。同じく企画財政グループで主任主査 松山富継。同じく主事 熊田有真。私、グループ長

<p>司会</p>	<p>の緑川利昭です。よろしくお願いいたします。お世話になります。</p> <p>— 議事 —</p> <p>続きまして、早速、次第の議事に移りたいと思います。</p> <p>ここからの進行は小林委員長にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いいたします。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>只今、紹介をいただきましたとおり、進行役ということでおおせつかりましたので、私、小林が座長ということで進めて行きたいと思ひます。</p> <p>本日は総合戦略に掲げる全てを評価することになっておりますので、時間が多少かかると思ひますが、円滑な進行にご協力いただきますようによろしくお願ひいたします。</p> <p>それでは、早速ではございますが、案件に入らせていただきます。</p> <p>次第の5議事の(1) 泉崎6次産業館について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>それでは、資料1についてご説明申し上げます。資料1をご覧いただきたいと思ひます。</p> <p>昨年12月の会議におきまして、ご説明をさせていただきました拠点施設整備交付金事業、こちらはいわゆる直売所を含む6次化複合施設に係る補助金でございますが、お蔭様で国の事業採択となりまして、平成29年度中に完成を目指し現在進めているところでございます。</p> <p>この資料1につきましては、国に申請した計画書になっております。中身をざっとご紹介いたします。</p> <p>まず施設整備計画の名称ということで、(1)のところですが、今回は泉崎村の魅力ある農業と未来に向けた農業拠点整備プロジェクトと題しまして計画を作りました。</p> <p>次の3の(2)のところに施設の所有者等というところがありまして、そこに金額が入っております。交付対象事業費ということで、今回、国の方に認められた金額としましては、1億1千万ということになります。これが事業費になります。</p> <p>で、これの2分の1、5千500万につきましては、国の交付金になります。</p> <p>で、残りの50%、5千500万につきましては、村の起債という形になりますが、その5千500万の50%が地方交付税の措置がされるという形になるものですから、最終的には、75%、8千250万の補</p>

助事業という形になります。

次に2ページをお開きください。2ページのところに施設の名称が出てまいりました。施設の名称につきましては、泉崎6次産業館となります。

場所は、4号国道の泉崎から4号線に入ったところを右手、郡山方面に曲がったすぐのところなのですが、もともと、ここは直売所用地として村の方で購入してあった土地でございます。住所は山崎33番地22となります。

ここにですね。今回施設を建設するというので、6月27日に起工式を行いました。

で、3ページを見ていただきますと、施設整備の内容が書いてありますが、こちらの1枚の用紙、追加で皆様にお渡ししてあります。こちらが施設のレイアウトになっております。これを見ていただきますと、直売所販売コーナー、食堂、調理場、加工場、事務室、トイレといったものを中に備えた形で、今回建設をするということで、始まっているところでございます。

この整備内容につきましては、4ページまで続くかたちになるのですが、国の交付金の事情がございまして、トイレとか駐車場とかいったものが、基本的に効果促進事業という形で、今回、整理をさせていただいております。

この施設が出来上がった後にどうするかということで、5ページの方に施設の利活用方策という形で、タイトルがあります。

今回、これは6次産業館ということで、直売所だけではなく、新たな試作品を作って特産品を開発するとか、そういったものを念頭に入れながらの施設建設となりまして、今回、国の方には、この真ん中ほどに、実施予定事業が5項目、村から挙げてあります。

一つ目は村内農産物の販売をまず行い、更にはこの施設でインターネットを活用しながらPRと販売を行っていく。更に3つ目として特産品を開発するために試作、研究を行って、そういったものの販売も行う。更には4つ目として学校給食センター、福祉部門といったところに食材を提供しながら、運営をして行く。更に5つ目として、結い協定を結んでおります南会津町あるいは、職員の派遣のありました長野県の下條村といったところの特産品を取り扱うことによりまして、相互交流を図って行くと、そういった複数の事業を展開しながら、この6次産業館の運営を進めていくという形で国へ申請をして認められたという形になります。

今の中身は6ページまで続いておりますが、更に7ページを見ていただきますと、今回の拠点施設整備につきましては、地方創生の事

	<p>業の一環でございますということで、これの評価を皆様をお願いを、次年度以降をお願いをするという形になります。</p> <p>今回、村の方で設定をしました評価の材料なのですが、まず 6 次産業館全体の販売収益が 1 つ、二つ目として、6 次産業館における雇用人数です。更には有機栽培に関わる農業就労人口。こちらの 3 点について次年度以降評価をしていただくという形になりますので、新たな評価項目の追加になります。</p> <p>内容については以上でございますが、ご質問等があればお受けいたしたいと思います。</p>
小林委員長	<p>ただ今、事務局から 6 次産業館について説明があったわけですが、皆さんから、何か気がついた点とかございましたら、承りたいと思います。</p> <p>そばコーナーのそばはどこで食べるの。そばコーナーと食堂が離れているようだけど。そばを食べる人はどこで食べるの。</p>
事務局	<p>食堂です。ひとつの建物の中ですので移動はすぐに来ると思います。</p>
小林委員長	<p>そばはのびてしまわないの。</p>
事務局	<p>そういった距離ではないので、大丈夫だと思います。</p>
小林委員長	<p>例えばこぶしの里のようにそばコーナーのすぐ脇に食べる場所があるのだけれども。これだとちょっと離れているようだから。</p>
事務局	<p>このそば打ちは、打っているところを直に見てもらうものを想定したものでございます。</p>
小林委員長	<p>あくまでも、食券は食堂で買うの。</p>
事務局	<p>そうです。隣に厨房がございますので、基本的にはそこで作って、そば打ちは見ていただくものです。そこで打ったものを厨房で調理しまして、すぐ隣の食堂に行く形になります。</p> <p>前室と書いてあるのは職員の通用口となります。</p>
村長	<p>グループ長、この補助をいただくにあたって申請の内容に沿って 2 年か 3 年、報告義務があると聞いたけれどそういう義務があるので</p>

事務局	<p>すか。</p> <p>ございます。先ほど最後に委員の皆様にご評価をさせていただくという形で説明をいたしました。基本的には平成28年度の国の事業になりますので、28年度から5年間、国に報告する形になります。</p> <p>28年度は当然、0となります。29年度に建物を建てて、何か動きがあればそれを評価していただく。で、30年度から売り上げとかが出てきますので、それを更に評価していただく形になります。国へは5年間報告義務があるという形になります。</p>
小林委員長	<p>今、矢吹でも直売所が一つオープンしたのです。いやさかのそばに。それと4号線の大信の交差点あたりに建物が出来たのです。平成さんが富士山みたいなのを作っていた向かい。聞くところによるとあれも直売所らしいです。</p> <p>6次館のなかで、地産地消ということで給食センターにも地元のものをご提供するというものが載っていますが、農家の皆さんが一生懸命作った作物を、地元の施設が消化していない。</p> <p>私は疑問に思っていたのですが、先日、財務担当に申し上げたのですが、今、皆さんが使っている施設、カントリーヴィレッジ。カントリーヴィレッジにはこれだけの宿泊客があつて、村から年間1600万という委託をですね。出していますよね。</p> <p>これだけの施設で地場ものは使っているのですか。</p>
事務局	<p>先ほど、資料をいただきましたが、何割かは使っている状況です。業者の数で言いますと、料理については6社ですね。村の業者が入っているという形になります。</p>
小林委員長	<p>村内6社というけれども、物によるでしょう。</p>
事務局	<p>申し訳ございません。仕入先の名前しか資料にありません。</p>
小林委員長	<p>泊り客が安心して泊まれるということは、村が関わっているからね。公共の宿。宿泊客に人気のある原因になっていると思う。</p> <p>そうすると、泉崎村で採れたものを提供していただきたいと思います。</p> <p>産業担当とよく相談して使ってもらえるようにしてください。</p>
村長	<p>お米も含めて農産物、野菜等はどの程度地元のものを使っている</p>

	<p>という資料になっているの。</p>
事務局	<p>これは仕入先の名前だけになっています。割合とかは入っていません。</p>
村長	<p>例えばどこですか。</p>
事務局	<p>魚政さん、ノーベルさん、ベジータファームさんとか、ナマズも入っています。こころんも入っています。Kショップさんといったところですよ。</p>
村長	<p>今、聞いている範囲では、ベジータファームくらいじゃないの農産物は。</p>
事務局	<p>料理に出される範囲ではそうですね。一応、料理に出される者の一覧になっています。</p>
村長	<p>お米については、まったく入っていないの。</p>
事務局	<p>お米については、木炭工房さんになっています。</p>
小林委員長	<p>木炭工房でお米をやっているの。</p>
事務局	<p>はい。</p>
村長	<p>それは地元で支店か営業所があるだけで、米は作っていないのでは。</p>
事務局	<p>先ほど、資料をいただいたばかりのものですから、中身を整理しまして、担当課と調整をさせていただきたいと思います。</p>
小林委員長	<p>ベジータファームは大野さんのところでしょ。大野さんのところはミツバでしょ。ミツバといたら薬味だけだよ。 米だって認定農業者の会長さんもいるのに、米は全量使ってもらうようにしないとね。</p>
事務局	<p>資料をいただきましたので、調整をさせていただきたいと思います。</p>

小林委員長	はっきり言って、困るよ。来年から補助金を打ち切るよ。
事務局	確かにカントリーヴィレッジには、指定管理委託として 1,650 万を村の方から支出させていただいていますので、担当課と調整をさせていただきます。
小林委員長	堂々と玄関のところに当館のご飯は地元泉崎産ですと張り紙を出してPRしないと困りますよ。
事務局	分かりました。
小林委員長	すみません。余談になりました。申し訳ございません。皆さんから。  (意見なし)
小林委員長	それでは、6次産業館については、皆さんからご意見がないようですので、次に議事の(2)泉崎村魅力発見発信事業の実施状況についてですが、先に資料等について、事務局から説明を受けた後、評価方法と進め方について、ご意見を頂戴したいと思います。 それでは、事務局の方からの説明をお願いします。
事務局	それでは(2)地方創生加速化交付金、泉崎村魅力発見発信事業についてご説明いたします。 資料2をご覧ください。泉崎村魅力発見発信事業につきましては、泉崎村のシンボルであります鳥峠の魅力を再発見するための自然学習会やオリエンテーリングなどの指導者の養成、後は、泉崎駅の東口の整備を図り利用者の増加と村観光資源の活用や人の流れ誘客を図るため、駅東口周辺の整備計画を策定する事業となっています。 今後は、生活の場として泉崎村が選択をされるように住まいの確保や交通利便性の向上を図っていきます。 また、村の観光資源の魅力向上に努め多様な情報発信を進めて行くということで、28年度に事業を実施しまして、国の方からいただきました交付金が3,600万円になります。 決算につきましては大体3,780万程、総事業費で実施しまして、事業全体では4つの事業がございまして、交付金を充当する事業経費として、4つに分かれているのですが、まず、鳥峠を中心として取

組に 1,850 万円、泉崎周辺整備に係る取組について 1,000 万円、移住定住賃貸住宅斡旋に関する取組について 350 万円、PR ビデオ・パンフレット作成に関する取組について 400 万円、大きく分けて 4 つ事業を実施しました。

それでは、まず最初に一つ目の烏峠を中心とした各種の取組についてご説明いたします。

烏峠を中心とした各種の取組の決算額は、20,566,063 円になります。

事業の概要としましては、1 ページの一番下のところに移りまして、各施設の連携に向けた基本計画の策定に 350 万円、講師謝金及び案内人の育成につきまして 150 万円、遊歩道の環境整備にかかる費用としまして 1,050 万円、伝承芸能発表会の開催経費としまして 300 万円という計画でした。

次のページ、2 ページに移りまして、上の段、具体的な取組実施になりますけれども、各施設の連携に向けた基本計画の作成につきましては、泉崎村土地利用計画業務委託を行いまして、土地利用全体構想、中心地区、駅を中心とした中心地区まちづくりの方針、駅東地区の土地利用計画を作成しました。

講師謝金案内人の育成につきましては、案内人の育成については、講師を呼んで樹木の名称等を学ぶ講習会を 9 月 13 日に開催しております。

自然観察会につきましては、7 回ほど開催しております。

次の遊歩道環境整備費用につきましては、烏峠の遊歩道ですね。烏峠を安全に散策できるように自然観察が出来るように環境整備を行いました。

伝統芸能発表につきましては、発表会自体は開催できなかったのですが、梅和歌念仏踊りの衣装ですとか、烏峠保存会の衣装を作成しまして、その衣装を用いまして各種イベントで出演者が着用いたしました。

前のページに戻っていただくのですが、中段あたりに目標事項、進捗状況というところがありまして、目標事項が 3 つ設定されております。

KPI につきましては、本来は 1 つでよかったのですが、2 つ書いてあるのは、単年度行う場合は 1 つでよくて、複数あるのは右側の方の 1 番上のやつですと、単年度で実施した場合は 2 回、複数年度で実施する場合は 5 回というふうに設定をしております。

31 年度の終了時点で、一番上の烏峠案内人の養成研修開催件数になりますと 5 回を目標に設定しております。

<p>小林委員長</p>	<p>28年度につきましては、1回開催したということで、5回に対して達成率は20%、次の段の魅力発信に係るイベント開催につきましては、自然観察回を7回開催したということで、5回に対して7回ということなので達成率140%、次の段の村伝統芸能継承者数(団体数)なのですが、こちらは2団体と変更がないため、達成率は50%ということになっています。</p> <p>その達成率について、評価をしたのが、また2ページにいきまして、28年度の評価ということで、B評価。</p>
<p>事務局</p>	<p>松山君、これだけで終わってしまう。時間がなくて。もう少し簡潔に、要所を、委員の皆さん、資料に全部目を通してからの。</p> <p>はい、分かりました。</p> <p>担当課の評価としてはB評価になっています。</p> <p>各施設連携に向けた基本計画作成につきましては、泉崎駅駅前広場を有する地区の基本計画の作成をいたしました。講師謝金案内人育成につきましては、鳥峠の魅力を発見することにより来訪者数が増えました。遊歩道の整備につきましては計画通り実施しました。伝統芸能発表会につきましては、実施できませんでした。</p> <p>29年度の取組については、村内だけでなく村外の人にもPRできるイベントを開催したいと考えています。</p> <p>とりあえず鳥峠を中心とした取組についての説明は以上です。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>全部やっちゃって。</p> <p>はい。次は3ページに移りまして、個別事業名としては泉崎駅周辺整備に係る取組といたしまして、決算額が10,594,800円になります。KPIは直接関連するものは設定されておりました。</p> <p>計画としましては、駅周辺の整備計画を策定するということが計画を立てていました。</p> <p>具体的な取組としましては、泉崎駅の東西を結ぶ自由通路の基本設計を実施いたしました。</p> <p>次のページに移りまして、担当課の評価としましてはB評価です。B評価はほぼ目標どおり進捗しており、継続して事業を推進することになっております。</p> <p>越線橋の案を4案作成しまして、その案について詳細検討しまして、29年度、今年度はJR東日本さんと自由通路越線橋整備のための協議を行っています。</p>

それでは、次のページに移りまして、5ページになります。個別事業名としては、移住者限定賃貸住宅斡旋に関する取組です。決算額が2,157,583円です。

こちらKPIのところ、数値と達成率の記載が洩れていまして、大変申し訳ございませんでした。27年度、28年度のところに数値が0、両方0ですね。達成率も0%と記入をお願いいたします。

田舎暮らし体験プロジェクトの参加者数、世帯数ということだったのですが、田舎暮らし体験プロジェクトが実施できませんでしたので、達成率が0になっております。

事業の計画としましては、若者の定住、若い世代の定住者を増やすための譲渡型賃貸住宅のPR活動を行うということでした。

具体的な取組としまして、一番下の実施のところ、定住促進住宅のチラシを作成しまして、新聞折込などで配布をしました。

後は天王台ニュータウンのポスターを作製し駅に掲示をしました。後は田舎暮らしの本に広告を掲載しました。それとE・村民を対象としてそば打ち交流会や餅つき大会を行いました。

次のページに移りまして、担当課の評価としてはB評価です。

定住促進住宅につきましては、申し込みが多数ありまして、28年度は2組の家族が泉崎村に移住しております。

29年度における取組としましては、田舎暮らし体験や村民との交流会を実施し移住者を増やしたいと考えております。

次のページ、最後になります。個別事業の4番、PRビデオ及びパンフレットの作成に係る取組としましては、決算額が4,571,640円です。事業の計画としましては、村をPRするビデオ作成とあとはパンフレットを作成したいということでした。

実施したのは、泉崎村をPRするための動画、10分間のものと2分間のものを作成しました。パンフレットは皆さんのところにお配りしてあるものを3,500部作成しました。

担当課の評価としましてはB評価になっております。2分間の動画につきましては、現在村のホームページで公開しております。泉崎村へようこそ分譲地のご案内というところをクリックしていただくとご覧になれるようになっております。

29年度の取組としましては、天王台ニュータウンですとかをPRするためのイベントでこのビデオを上映したいと考えております。パンフレットはその際に配布したいと考えております。

参考として、この2分間の動画をご覧いただければと思います。

小林委員長

只今、事務局から説明がございましたが、鳥峠、拠点整備、賃貸

	<p>住宅、それから村のPRと一挙に説明を受けましたので、PRのビデオをご覧いただいてから、皆さんからご意見をいただきたいと思っています。</p> <p>(動画を上映)</p>
小林委員長	<p>それでは、資料2につきまして、烏峠、駅整備、賃貸住宅、PR動画の説明をしていただきました。皆さんからお気づきの点がございましたなら。</p>
村長	<p>このビデオを製作するのにいくら掛かったの。</p>
事務局	<p>動画の作成につきましては、3,193,000円になります。</p>
村長	<p>このビデオを作るのに。</p>
事務局	<p>はい。</p>
小林委員長	<p>10分ものと2分ものがあるの。</p>
事務局	<p>はい、そうです。</p>
小林委員長	<p>両方合わせて330万。</p>
事務局	<p>319万です。</p>
小林委員長	<p>両方合わせて。</p>
事務局	<p>両方合わせてです。</p>
村長	<p>今のは、どっちなの。</p>
事務局	<p>2分です。</p>
村長	<p>ほかに10分のが、あるの。</p>
事務局	<p>村長に確認をいただいたものが10分のものになります。</p>

小林委員長	これはどういうときにPRするの。
事務局	10分のものにつきましては、天王台ニュータウンのPRのイベントの際に上映をしていただく、で、2分のものにつきましては、今現在、村のホームページで公開しておりますので、そちらでご覧いただけるようになっています。
村長	10分のものに入っているの。介護施設が多くありますよとか、例えば診療所を含めて、病院がありますよとか、あるいは教育施設が充実していますよ、みたいな中身が全部入っているの。
事務局	全部、10分のものに入っています。ご確認をいただいた中身になっております。
村長	その辺が2分の中には濃縮されていないなと感じただけ。
事務局	5分の1になっていますから、その辺はちょっと。
小林委員長	10分のビデオの中にはランドセルの無料、それから18歳医療費、保育所の第2子以降無料化、幼稚園の無料化、それら全部入っているのか。10分の中には。
事務局	<p>そこまで細かいところまでは入っていないです。色々な施設の紹介をしていますので、なかなかそういったところまでは。</p> <p>あと、パンフレットには色々な奨励金もあるのですが、こういったところを改正しながら、新たなものが、良いものができれば、それを追加して、作ることは可能かと思います。</p>
小林委員長	<p>18歳までの医療費無料化、それから幼稚園の完全無料化、そしてランドセルの無料提供といったものをPRして、若い夫婦の方はそういうところが魅力なのですよ。</p> <p>現在、人口減少化、減少化といいますけれど、子どもが少ない。子どもが少ないので、子どもの教育費にかかる金額が莫大なの、一人にかかるのが。</p> <p>だから、子どもにかかる費用がそういうように村が多なる負担をしているということPRすると若い方たちは、そこを魅力だと思うのね。</p>

事務局	<p>皆様にお配りしているパンフレット。この部分に奨励金等、色々書いてあるのですが、これを作ったときには、幼稚園の無料化の関係がまだ実施されていなかったものですから、次回以降にそれは反映させるという形になります。</p> <p>なお、18歳以下の医療費の自己負担助成というのは、ここに謳ってあります。</p>
小林委員長	<p>皆さんの方からはどうですか。</p> <p>はい、山田さん。</p>
山田委員	<p>このパンフレットはどこに行ったらいただけるというか、あるのですか。</p>
事務局	<p>役場の中だと役場事業課産業グループが配付をしているのですが、それ以外の場所に常時置いてあるという場所は特にはないです。</p>
小林委員長	<p>役場に入るともらえるのではなくて、役場では1箇所なの。</p>
事務局	<p>実際これですね。パンフレットにしては小さいですよ。これはお母さん方がバックに入る手ごろな大きさということでこれにしたのですね。主にPR活動の時に配るという形で作ってあるのですが、村内いたるところでこういったものが手に入るようにしていきたいと思います。</p>
山田委員	<p>大きさは、私は個人的にはいい大きさだと思います。私、今日の会があるので、偶々新婚さんがうちの職場にいて、その方たちの話をちょっと聞いて、委員長さんがおっしゃったように若い人が定住するのに泉崎をどうやって選んでくれるのかなってというところが、すごく気になったので、一つの資料として、お話ができればと思って聞いてみたのですけど。</p> <p>30代前半の旦那さんと20代後半の奥さんで結婚して1年になるのですけど、石川出身と須賀川出身で全然、住んでいるところが西郷村。</p> <p>なんで西郷村にしたのですかと、同じ村なので、何で西郷村にしたのかなと聞いたら、知人からの勧めで、お誘いがあったということで、住みやすいから来てみたら良いでしょうということがあって、ご兄弟もいるようなので、職場に行くのにも支障がない範囲だったので西郷村に住むようにしたということだったです。</p>

	<p>泉崎の印象もちょっと聞いてみたのですけれど、じゃあ、何で泉崎は選ぶ対象に入れてもらえなかったのかって聞いたら、何かメリットを感じなかったとおっしゃいました。泉崎に住むというメリットを感じなかった。で、これにつながるのには、やっぱりこれからお子さんをもうけられると思うのですけれど、医療費の部分とか、泉崎は幼稚園の保育料が無料だったりするのよって話しをしたら全然知らなかった。それは魅力の一つですねとおっしゃっていました。</p> <p>こういうものがせっかく出来ていたのなら、役場中に置いておいて、役場に行く人というのは限られていますよね。村民だって本当に用事がなければなかなか役場に行かないですよ。もうちょっと、せっかく作ったのなら発信源の広がりを考えていかれたら。すごく良く集約されていてもったいないかなと思いました。</p>
小林委員長	この泉崎ストーリーは1冊いくら位掛かるの。
事務局	パンフレットの作成費用につきましては、概ね130万円掛かっていまして、3,500部刷ったので、単価にすると、1冊370円ほどになってしまいます。
小林委員長	え。
事務局	370円。
小林委員長	これが。
事務局	これは作る版代が高い。この後、例えば5,000部増刷するとか、そういったところになると。
小林委員長	分かった。初回だからデザインとかで高い。
事務局	色々なものがあって高い。これをまた5,000部増刷になると。
小林委員長	1万部増刷すると1冊100円位に。
事務局	もっと安くなると思います。これは最初のものなので、色々な経費が入っております。それを全部含めた形になります。
	あと、今ご意見をいただいたところがありましたので、早速、役場だけではなく、色々なところに置くような形をとりたいたいと思いま

	<p>す。</p> <p>あと、SNSですか。そういったもののご意見もいただいていたので、こういったものを色々なところに載せながら、更には幼稚園の無料化とか、後で追加になった部分もございますので、そういったものを取り入れながら、極力、発信できるような体制をとりたいと思います。ありがとうございました。</p>
小林委員長	<p>村長さん、泉崎駅の片面、東口に関して何かございますか。</p>
村長	<p>29年度、今年度からですね。スタートしようということで、今、設計中でありますけれど、JRの敷地の中については、全てJRの指示とおりに、そして、発注そのものもJRでやるということは曲げられないということで、ましてや、建設資金も相当なもので、それは、JRの、早い話が言いなりの金額になっている感じなのですが、それ以外の進入道路、200mくらいのが、まだ農道になっているものですから、そこは29年度で、舗装は除いて、きれいに仕上げようということで予算化をしております。</p> <p>後は、ターミナルと言いますか、広場ですね。東側の。広場についても随時、後で予算化して、その部分も。これはみんな村の資金でやりますけれども、そこを整備しようということで、道路の次にそこを考えています。</p> <p>同時並行して、その敷地の中の計画を、ほとんど基本設計は出来ているのですが、また再度詰め的设计をやらなければいけないとJRの方で言ってきているものですから、また、何千万か、掛かるようなのですが、それを同時並行してなるべく早く両側から、乗り入れが可能な状況にしたいなと思っています。</p> <p>今のところ私どもとしては5億くらいを想定していたのですが、何か向こうで言っている金額は、2割り増しのような話があるので、それは交渉しなくてはいけないなど。大体越線橋ですね、上がって降りだけの、鉄骨系ですよ。幅もせいぜい2メートル50位の。あれだけで4億近い話しをするのですね。何でそんなに掛かるのだ。危険の度合いもあるとか、避けながらやらなければいけないとか、何か色々理由があるようなのですが、それでも向こうの方針に従わなければならないのかなと思っていますけれど。</p> <p>いずれにしても、村の土地はやらせていただき、ここへのアクセス、かなり良くなりますし、烏峠、あるいは公共施設の幼稚園を含めた、あるいは役場、東口の方に来ているものですから、両方均衡が取れるように計画を進めたいということで、スタートは切ってお</p>

	り、なるべく早く完成にもって行きたいなと思っています。
小林委員長	ありがとうございます。
教育長	よろしいですか。
小林委員長	はい、教育長。
教育長	話が戻って、越線橋の話とはちょっと違うのですがけれども、先ほどのこれについて、付け加えてよろしいでしょうか。 この表紙、すごく素敵だなと思ひまして、これの大きい横のポスターを作って新白河駅に貼ってもらって、下にポケット作ってこれを何部か入れておくみたいな、目を引くと思うのですが、どうでしょうか。キャッチフレーズもいいですね。そういうのはいかがでしょうか。
小林委員長	これ、アングルの説明はどこにあるの。鳥峠から望むとかさ。
事務局	本当ですね。入っていなかったですね。
小林委員長	見ている人は分からないよ、これ。今はドローンというのがあるからね。そういうことも考えないと。村のシンボル鳥峠から望むとか。
事務局	はい、わかりました。
村長	これは増刷とかこれから考えていくときに、中身を少し修正してもらって、この中には施設関係、福祉関係の、私は村内に介護施設が3つもあると、今、作っていますから、3つもある市町村、6千人7千人規模の町村ではまずないと思っています。 そうすると今度できる30床の施設については、村民優先となっていますから、これは10月ごろに出来る予定です。 そんなことを含めて、福祉の分野でPRできると思うのね。その辺は大きいと思うのですよ。 入ってきた人は何か魅力を感じて来ているので、ただ、そのスペースが割き過ぎかなと。
事務局	わかりました。新たな分の追加等を検討しながら進めて行きたい

	<p>と思います。</p> <p>後、先ほど教育長さんからお話しのありましたポスターの件なのですが、土地販売促進課の方で、J Rとかの駅にポスターを貼ったりしているみたいなので、可能かどうか確認をしながら進めていきたいなと思います。</p>
村長	<p>それから 18 歳まで医療費が無料というやつ。民報さん、民友さん、福島県全体が 18 歳になっているのですか。</p>
古川委員	<p>なっていると思います。</p>
村長	<p>それは原発の関係で県のバックアップがあるのですよね。ただ、村の場合は、その前からスタートしたのですよ。18 歳をやろうと議会の承認をいただいて。</p> <p>だから、これからも県で、原発問題が仮に終わった、補助金が来ないとなっても、継続する話ですから、他所とはちょっと違うのですから。他所は県を通して、放射能対策で 18 歳未満無料化になっているのですよね。それとは全然違うのですよね。最初からそういう姿勢で、やっていますので、分かって貰いたいなと。</p>
小林委員長	<p>それとやっぱり、子供のこともね。子供を増やす施策も必要だけれども、泉崎村に住むと老後のことも心配ないのだということ。</p> <p>村長が言うように、ケアハウス、南東北、地域密着型、しっかりと P R したほうが良いと思うよ。老後ね。私たちも大体足を突っこんできたのですけれども、やっぱり安心して、高齢者も暮らせるのだということを P R して。</p>
事務局	<p>そうですね。改訂版の方で。</p>
村長	<p>南東北は何十床くらいあるのですか。介護施設のベット数は。70 か 80 くらいあるでしょう。80 で、ケアハウスの太田川のところは 50 床、そうすると 150 以上 160 位、将来、村内にあるのですね。</p> <p>やっぱり安心感があるのかなと私は思いますけどね。ですから、子供からお年寄りまで。</p>
小林委員長	<p>村長さん。賃貸住宅のことについて。</p>
村長	<p>賃貸住宅もシリーズで一昨年からは始めているのですが、これ、毎</p>

<p>小林委員長</p>	<p>回、公開抽選で、8組から9組の方々が参加しているのですね。</p> <p>どうしてもそこに当選したいという思いで、みんな参加するのですが、それには対応しきれていないので、今年ですね、もう1棟、今、設計で、間もなく工事発注できるのですが、この3万9千円という魅力があるものですから、20年過ぎたら自分のものにどうぞということなので、ローンで買えるようなものなのですね。</p> <p>色々な金融機関みたいに何の制限もないものですから、非常に魅力を感じているということで、この傾向が続いた場合に、今、議会の皆さんにも言われているのですが、今、天王台ニュータウンを中心に空き地を活用しながらやっているのですね。</p> <p>向こう側、第二小学校区域も考えてと議会での要望があるものですから、そちらの地域もいいなという思いをして、多分、今年の動きを見て、また、真剣に考えて議会に提案したいなと思っています。</p> <p>今のところ、好評をいただいているなと思います。2人子供を条件にしているし、ご夫婦健在ということですから、間違いなく、一つの建物で4人増えるというわけですから、人口減少対策に、子供を含めてですから、いいのかなと思っています。</p> <p>皆さんから他にございませんか。</p> <p>今、資料2に関しまして、烏峠、駅整備、賃貸、それからPR動画について一気に説明を受けましたが、皆様のご意見がなければ、自己評価のままでよろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>小林委員長</p>	<p>それでは、議事の(3)泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策の実施状況について、ですが、評価の進め方について、私の方から提案したいと思います。</p> <p>これから、1つの1つの事業について評価する訳でございますが、時間的なこともございますので、基本的には、資料を事前にお読み頂いているという前提のもと、個別の事業については、事務局から補足説明が必要なものだけを説明して頂くということにしたいと思います。</p> <p>そして、評価方法でございますが、村の自己評価に対して、特に皆さまのご意見がない場合、委員会としては自己評価どおりとさせて頂きます。</p> <p>また、村の自己評価と異なる評価をする場合には、委員会として、その判断理由のコメントを付したいと思います。</p>

<p>小林委員長</p> <p>事務局</p>	<p>以上のような評価の仕方をさせて頂いても、よろしいでしょうか。</p> <p>(異議なし)</p> <p>それでは、事務局の方からの説明をお願いします。</p> <p>はい。それでは(3)泉崎村まち・ひと・しごと創生総合戦略の各施策の実施状況について説明いたします。</p> <p>説明する資料ですが、資料3と資料4になります。資料3は資料4をまとめて一覧表にしたものになっております。資料3のところで、A評価となったものが4つあります。B評価となったものが18個、C評価となったのが16個、D評価となったのが5つ、E評価となったのが1つあります。</p> <p>D評価となりましたのが、9番、中ほどにあります高度化資金等の助成制度の促進事業、次のページ2ページに移りまして、19番にありますUターン者等の奨学金減免事業、続きまして、26番にあります泉崎村の特産品を活かした食育推進事業、次のページに移りまして32番に新たな活動団体の創出事業、下の方に行きまして41番、地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護への優遇措置制度の検討、42番が救急医療体制の維持及び充実についてはE評価になっています。</p> <p>E評価というのは、目標値又は事業自体を抜本的に見直しを要するという評価になっておりまして、資料4の方の42ページをご覧ください。</p> <p>42ページの事業名として救急医療体制の維持及び充実、事業の概要としましては、広域的医療機関との役割分担や連携強化に向けた支援を行い、医療の充実に努めますということで、目標事項として、広域的医療機関との連携事業数として1つの事業をやりたいということだったのですが、実施していないということで達成率が0%となっておりまして、担当課の評価がE評価、一番最低の評価になっております。</p> <p>村としましては、白河地方広域圏の方に負担金という形で救急医療体制の維持や医師確保のための負担金を拠出しておるのですが、村独自の事業を実施していなかったということでE評価になっております。</p> <p>今後は村独自というのはなかなか厳しいので、広域圏で連携して体制の充実を図っていきますということでE評価になっております。</p>
-------------------------	--

<p>小林委員長</p>	<p>簡単ではありますが、以上で説明を終わります。</p>
<p>教育長</p>	<p>皆様から、ご意見をいただきたいと思いますが、せっかくの機会ですから、教育長、資料3の一番頭にあるように、基礎学力推進事業がありますね。教育委員会としては特にどういうことをしているかお話していただけますか。</p> <p>それでは、基礎学力推進事業、担当課はB評価になっているのですけれども、これは、該当するのは多分、プチスクールという土曜学習塾を評価してくださっていると思うのですが、プチスクールについては、4年ほど前から始まっているのですが、28年度については、受講する生徒が、中学生は減少しなかったのですが、小学生が多少減少していました。</p> <p>例えば5年生、6年生、合わせてですね。27、8名で、以前は40名の定員のところほぼ、37、8名いたのですけれども、昨年度は27、8名と受講生が少なくなっています。</p> <p>それはやはり4年目を迎えて、少しマンネリ化しているなということが原因だったと思います。</p> <p>それで29年度、今年に関しては、そこをもう少し、受講する子供たちのニーズに合わせたものにしようとして、2コースを用意して現在実施しています。</p> <p>2コースというのはどういうコースかという、寺子屋コースといいまして、和室で、長テーブルで15、6人を個別指導にあたる。</p> <p>もう一つのコースは下で、こういうテーブルで机と椅子で学習するのは、発展コースといいまして、教科書よりもちょっと難しめの学習に取り組む。そしてまた、最後には数検、英検にも挑戦するというその2コースを設定したことによりまして、今年29年度は37、8名と受講生が増えています。</p> <p>ということで、評価の方法ですか、とってもいいと思います。これを見て事業についての改善を図っていこうという気になります。そのようなところです。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>それからスポーツによる地域振興、副村長、前にも聞いたことあるのですけれど、この陸上競技場の汚染土はどのようになっていますか。</p>
<p>副村長</p>	<p>陸上競技場の除染の廃棄物の処理については、今まで千何百体、</p>

<p>小林委員長</p>	<p>運んだのですけれども、今年、また、続けて行って、来年度、30年度には必ず終わるという約束で今、計画しています。引き続き、今回は休みということではなく、引き続き年度を跨いで運ぶということで、考えています。</p> <p>あそこを整備して、陸上ではなくサッカー場として、そうすると合宿する都会の人たちがいると思うのね、するとここも活性化になる。</p> <p>早く汚染土を片付けてもらってね。使えるようにね。</p>
<p>村長</p>	<p>中の芝生はまた新しくなりますから、その時に陸上で使うというよりもサッカー場にして、刈り込んで管理をしていけば、そういう用途に十分耐ええる気がしますね。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>ここも活性化するし、ナマズも有名になると思うね。</p>
<p>副村長</p>	<p>今までも陸上競技場の中についてはサッカー、使っていましたからね。</p> <p>あれを一回、全部運んでしまって、元に戻して、それからサッカーも出来るという状態に。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>企業さんから見ると村の魅力ってどうですかね。</p> <p>例えば、お茶飲み話しに従業員の皆さんがこういう話をしていたとかありませんか。</p>
<p>堀委員</p>	<p>泉崎村についてですか。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>はい、泉崎村について。</p>
<p>堀委員</p>	<p>自分のことを言ってあれなのですけれども、私は埼玉なのです。夫婦で埼玉なのです。で、こっちの工場に転勤になってといた時に、先ほどもお話しがありましたけれども、従業員からやっぱりどの街が住みやすいかと話を聞いて、私は鏡石なのですけれども、やっぱり、学校だとか病院だとか、スーパーだとか駅だったりとか、そういったところで選んでいるのですけれども、で、うちの会社は矢吹、白河、泉崎は大体8割9割なのですけれども、郡山からも一部来ているのですけれども、なかなかやはり、先ほど言ったところが生活の主なので、このストーリーの部分の、例えば空港であった</p>

	<p>りとか、泉崎村だけの企業ではなくて、この辺の近隣の企業さんにこれを置いていただく、そういったことも重要じゃないかなと思います。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>秋山錠剤の工場長さん、何か村に関して。</p>
<p>小林利安委員</p>	<p>私はまだ5月15日に着任したので、この街の状況が分かっていないので、すみませんけれども。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>澤田さん、どうですか。</p>
<p>澤田委員</p>	<p>はい、私も実は4月に相馬支店の方から白河支店に来まして。相馬の時にも、新地町さんと相馬市さんと同じようなプロジェクトに参加をさせていただきました、色々各市町村で色々あるのだなと思いつつ見をしていました。</p> <p>今、堀さんからも話がございましたけども、企業立地で色々あって、町でも村でも力を入れているかと思うのですが、なかなか、やはり我々男世帯は来るのですけれども、なかなか家族を連れて来られないというのが実はあって。</p> <p>段階的言えば、交流人口を増やすという意味では非常に大事なことなので、企業立地するという事は、非常に重要なことなのです。</p> <p>その次にそこに定住をするためにはどうするのかというと、これは相馬市で話題になったのですが、結局のところ、女性陣と子供なのです。奥さんと子供。一番気にするところはどこかということ、実は教育という話がありました。</p> <p>今先ほど、教育長の話をお聞きしてまして、寺子屋的なお子さんに対する教育をやっているというのは、新知町さんでも相馬市さんでも取り組んでいらっしゃる、非常に素晴らしいなと思いました。</p> <p>実は相馬市辺りでも誘致企業さんは相当ありまして、残念ながら、同じ県境のところをいくと、進出企業さんはどこに住もうかというところは宮城県です。</p> <p>一つは原発の問題もあるのですが、残念ながらそれ以上に、長く住んだ場合に、地元の教育レベルを見たときに福島県の相双地区よりは宮城県だよ。というところで、具体的に出してしまうとIHIさんなんかは2千人くらいいらっしゃいますが、3割以上は宮城県から通っています。そういう状態です。</p> <p>ですからやはり、企業の立地をして、奥様子供となった場合、地</p>

	<p>元の教育レベルを上げていくことが非常に大事なことなので、今、泉崎さんで取り組んでいらっしゃるそういう制度もっと訴求をしていいのかなというふうに思います。</p> <p>後はよく我々の銀行のホームページでも、企業さんが来る際にバナー広告でポンと飛ばして町のところになるのですけれど、先ほどビデオなどを拝見して、ここに冊子なんかもありまして、何に使うのかというところの目的をしっかりと持たないと、これとビデオで500万位掛かっていらっしゃるということですから、教育長さんがおっしゃったとおり、各企業さん置いてもらって、泉崎村の伝えとか、あるいは我々銀行のATMコーナーとか、そういったところに置かせていただいて、利用していただく、そういう何か、村の役場に置いておいても、なかなか、村の方が中心になって、そういったところを工夫しながら取り組んでいかれたらいいのかなというふうに思います。</p> <p>後、村の施設、私も恥ずかしながら初めて来まして、すばらしいので、やはり泉崎村さんって、もっと訴求をして、情宣活動して、やっていただければ、これだけのすばらしい施設、これだけの自然というのは、実は私、来て感心をして、お隣の西郷村さんにも全然負けないくらいなのかなと思いますので、そこは情宣活動のありかたも少し、媒体って何を使って行くのかも考えていかないと、なかなか活用されないのかと感じています。</p>
小林委員長	ありがとうございます。事務局、参考にさせていただきたいと思います。
事務局	ありがとうございました。
小林委員長	ちょっと前に戻りますが、認定会長さん、6次館、今度、10月頃完成するようですけれども、何か6次館に関していいアイデアがありますかね。農産物についてですね。
安藤委員	思いつきで話しをしますと、遊休農地に雑草とか生えていますけれど、山羊を放牧しまして、山羊の乳を活用すると。
村長	どこかの国で山羊の乳からつくるチーズは有名らしいね。
安藤委員	草がなくなりますので。原野に山羊を放しますと、目的は農地の復活で、不可能ではないのかなと。

村長	有給農地は増やしたくないし、山羊は飼いたいし。
小林委員長	長久保さん、何かございますか。
長久保委員	<p>山羊の話がでたのですが、村長さんも山羊のチーズは素晴らしいと。今、泉崎村の酪農家が何軒かありますよね。皆その方たちは、組合に牛乳を納めているだけなのですね。自分で何かを加工しているという部分はないのですか。</p> <p>そうした時に、酪農家の人たちは自分の経営が精一杯で加工にはまわらない。そういう時に 6 次館が出来たなら、そこに加工施設を作って、酪農家でなくとも加工に携わる人ができれば、それは泉崎でしか味わえないチーズとか、あるいは、ヨーグルトとかは可能ですよね。</p> <p>原料は余るほど、加工する以上に余るほどある訳ですから、そういうなかで、安藤さんが言ったように、山羊もちょっと飼ってみたい、山羊の乳でチーズを作って独特のものができるといことで、ただ、それ以外の農産物を加工、そういうものと絡めながら乳製品を加工するのであれば、米とは反するのですが、麦類なんかも作ってみて、パンを作って、食堂で、チーズでパンを食べるとか、あるいはヨーグルトで食べるとか、ということは以外と簡単に出来るような気がします。</p> <p>ただ、酪農家はチーズを作る施設がなかなか、そこまでは自分では手が回らないということだと思います。</p>
村長	それを作ってみたいという思いはありますか。ぜひ、あれば、行政のバックアップの下で、せっかくの機会だから特産品でやってみたいですよ。
長久保委員	酪農家の話を聞くと今のEUとの協定、あるいはTPPの、できる国だけで提携するかという話しの中で、経営に対する不安を抱えているのです。そういうときに加工して、本業での目減りを加工で補うということ。
村長	分けて納品してもらおう、乳を、それは可能なのか。どうなのですか。
瀬尾委員	うちの直売所では、農業短大のジャージー牛を使っています。納

	<p>入する際は酪農組合さんを通して、うち事務の方から取りに行っています。酪農組合さんを通せば、問題ない。</p>
<p>村長</p>	<p>そうですか。やはり地場のものだと、原料がですね。それは違う意味の発信が出来ますね。</p>
<p>瀬尾委員</p>	<p>ただ、搬送するには冷凍する必要があります。</p>
<p>小林委員長</p>	<p>他にご意見ございませんか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>小林委員長</p>	<p>それでは、評価は自己評価のままで、結構でございますか。よろしいですか。</p> <p>(異議なし)</p>
<p>小林委員長</p>	<p>以上で全事業の評価をさせていただきました。全体を通じて、改めて、お気づきの点や、ご意見はありませんか。</p> <p>(意見なし)</p>
<p>小林委員長</p>	<p>それでは、本日の評価の結果につきましては、事務局で、一覧にまとめて頂き、後日送付いたしますので、ご確認をお願いいたします。</p> <p>次に（４）その他について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>委員の皆さま、ありがとうございました。</p> <p>今後の予定につきましては、本日、各委員の皆様からいただいた各事業に対する評価やご意見を踏まえ、事務局の方で、まとめさせていただき、各委員の皆様へ送付したいと考えております。</p> <p>まとめた結果につきましては、国や議会へ報告する資料にしたいと考えております。</p> <p>なお、国の交付金の事業報告で、事業評価について別途、開催する必要のある指示があった場合など、皆さまのご意見をいただいた方がよいということになれば、またご連絡させていただくこともあるかも知れませんので、その際にはよろしく申し上げます。</p> <p>以上でございます。</p>

小林委員長	<p>それでは、今の事務局からの説明に対して、何かご意見・ご質問等はございませんか。</p> <p>(意見なし)</p>
小林委員長	<p>ほか、何かご質問等がなければ、本日、予定しておりました議事については、すべて終了とさせていただきます。</p> <p>皆様から大変貴重なご意見をいただきまして、心より御礼を申し上げます。長時間にわたりご審議ありがとうございました。</p>
司会	<p>－閉会－</p> <p>小林委員長、本当にありがとうございました。本日は、ご意見、ご質問を含め、ご提案など頂きまして、誠にありがとうございました。</p> <p>いただきましたご意見等につきましては、担当課と調整をさせて頂きまして、よりよい方向に進めていきたいと考えています。今後ともよろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、第7回泉崎村地域創生・人口減少対策委員会を終了とさせていただきます。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>